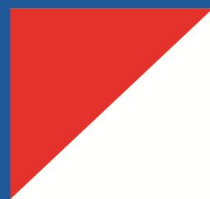


第1回 ひろしま金融アイデアソン

え ん ひ ろ し ま
YEN HIROSHIMA 2017



2017. 4 / 22 SAT



広島県と広島銀行は、「お金にまつわる新しいサービスをつくろう！」をテーマとして、多様な参加者が新しいアイデアを出し合うアイデアソンイベント「YEN HIROSHIMA（えん ひろしま）2017」を開催します。

新たなサービスやイノベーションの創出に興味をお持ちの方、具体的な課題や夢・希望をお持ちの方、良く分からないけどなんとなく何かをやりたい方など、意欲さえあればどなたでもチームを組んでエントリーが可能です。みなさま奮ってご参加ください。

アイデアソン（Ideathon）とは？

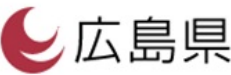
- 特定のテーマについてグループ単位でアイデアを出し合い、それをまとめていく形式のビジネスコンテストです（Idea+Marathonの造語）。
- 主に技術者を対象にした「ハッカソン（Hackathon）」とは異なり、システム等のプロトタイプ開発は行わず、成果物は「アイデアのみ」となります。
- 近年、業界や組織形態を問わず、企業等のイノベーション活動や地方創生における産学官連携等のアイデア創出手段として広く活用されています。

“YEN HIROSHIMA（えん ひろしま）”とは？



- 「広島を中心とした地域のヒト（企業）・モノ・カネの循環プラットフォームの役割を金融が担い、地域経済の活性化に寄与する」とのコンセプトのもと創設された、広島銀行による地域・異業種連携イノベーション・ハブのブランドです。
- “YEN（えん）”には、①“円（通貨）”・②“円（地域内循環プラットフォーム）”・③“縁（人／企業のつながり）”の3つの思いを織り込んでいます。
- 左の“YEN HIROSHIMA（えん ひろしま）”ブランドロゴは、円形の5円硬貨をモチーフとし「YEN」の文字をシンボルに組み入れることで、これら3つのイメージを端的に象徴し、瀬戸内海の造形と併せて広島銀行のコーポレートカラーである青で表現することで、広島銀行と広島を中心とした地域との相互作用による良好な“協創”関係を表したものです。
- “YEN HIROSHIMA（えん ひろしま）”は、今後も継続して広島の地域経済活性化に貢献する様々な取り組みを実施していく予定です。

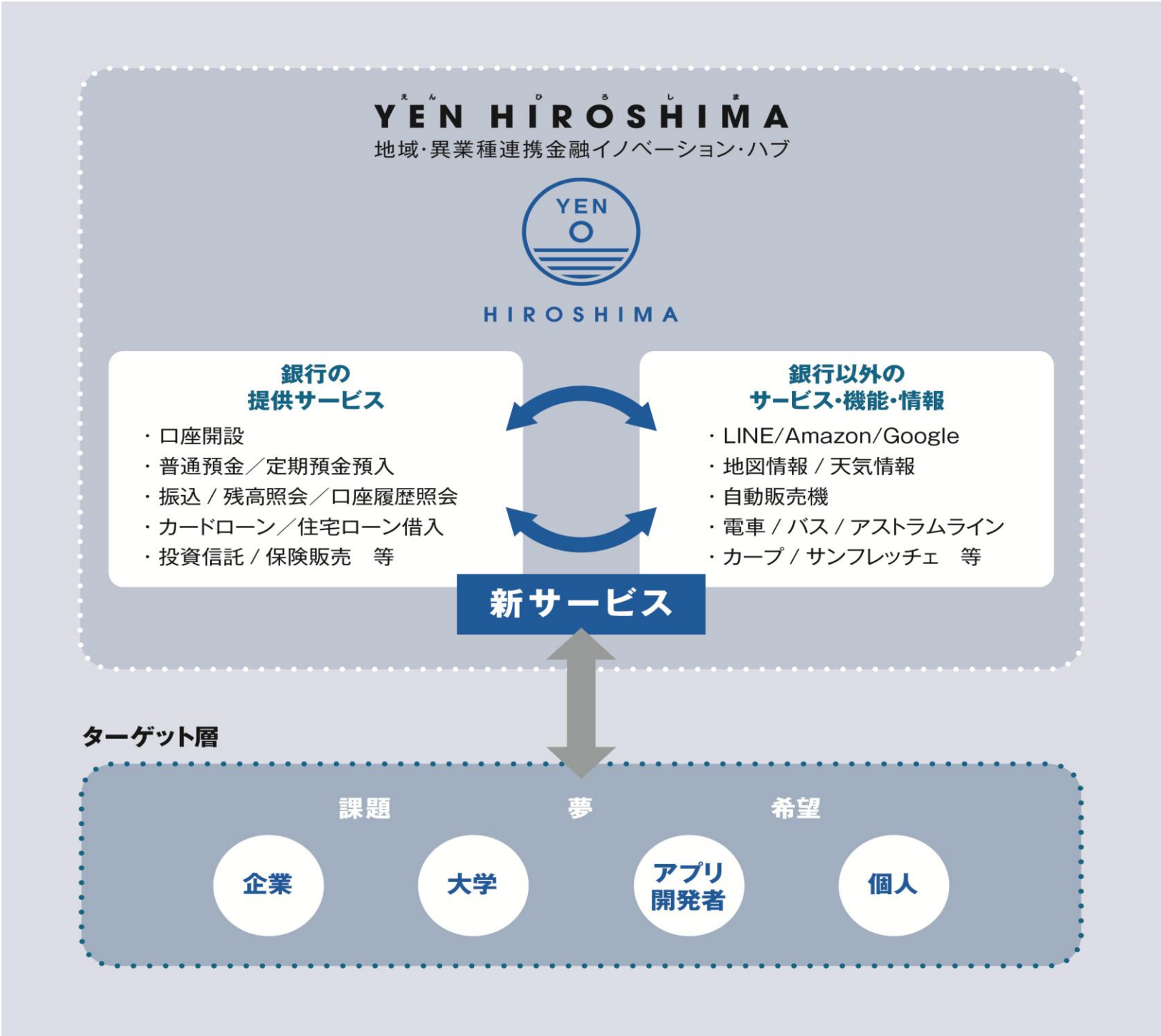
【募集要項】

項目	内容
名称	第1回ひろしま金融アイデアソン “YEN HIROSHIMA（えん ひろしま）2017”
テーマ	～お金にまつわる新しいサービスをつくろう！～ 銀行のサービスと、外部の企業等のサービスを融合することで、広島を中心とする地域経済が活性化したり、この地域に住み・活動する私たちや企業がうれしくなる、そんな全く新しいサービスを創出し、イノベーションを起こしていこう！
主催者	広島県、広島銀行（共催）  
開催日時	平成29年4月22日（土） 10:00～19:00
開催場所	イノベーション・ハブ・ひろしま “Camps（キャンパス）” （広島市中区紙屋町一丁目 4－3 エフケイビル 1 F） http://www.camps-hiroshima.jp/  

プログラム	・10:00～：開会の挨拶趣旨、ルール説明 ・10:30～：アイデアソン開始 ①広島銀行役職員とのチームビルディング ※各チームへ広島銀行役職員がサポートに加わります。 ②チーム間交流、チーム内でのアイデアブラッシュアップ ③プレゼン準備 ・16:00～：プレゼン・ピッチ（各チーム5分程度） ・18:00～：審査 ・18:30～：表彰 ・18:50～：主催者講評 ・19:00：終了 ・懇親会（任意参加、会費制） 《注意事項》 ※会場内での軽飲食等は可（簡単なものを事務局で準備します。持ち込みも可です。） ※昼食は用意しておりません。各自、適宜外出のうえ取ってください。（会場内での昼食は不可） ※懇親会は引続き会場内で実施します。 当日、事務局より参加有無を確認し、参加される場合、その場で会費（2,000円程度）をお支払いいただきます。 懇親会では夜食・軽飲食を事務局にて用意しますが、各自持ち込みも可能です。（アルコール可） ※一部、内容が変更となる可能性があります。詳細は参加決定者へ別途ご案内いたします。
参加資格	18歳以上の一般個人・学生、企業・団体 （特段の制約は設けません。ただし、イベント主旨を理解し、「広島を中心とした地域経済の活性化」や「イノベーション創出」に向けた「熱い思い」と「意欲」を持った方を希望します。） 《注意事項》 ※チーム参加を原則とします。 ※1チームあたりの参加人数に制約は設けませんが、平均3～5人程度を想定しています。 （1人での参加も可能ですが、当日、別の個人・チームとのチームビルディングをお願いする可能性があります。） ※システム開発や金融その他の技術力・専門知識等は一切不要です。上記の条件を満たせば、どなたでもご参加いただけます。 ※既に事業化に向けて具体的なアクションを起こしている個人・企業も参加可能です。
参加費	無料
募集定員	10～15チーム程度（50人～70人程度） ※応募多数の場合、事務局にて応募内容等をもとに1次選考を行う可能性があります。
表彰内容	プレゼン内容を審査し、優秀なアイデアには表彰のうえ賞金を贈呈 優勝：30万円、準優勝：10万円、第3位：5万円 （その他、各種特別賞も予定）
ルール／審査基準	以下の審査基準等を元に、審査員の合議により入賞者を決定 （その他、別観点での審査基準による特別賞も予定） ・銀行サービスと外部の課題／サービス等を組み合わせることで創出される新たなアイデアであること（イノベーションの創出に相当すること） ・地域経済の活性化に資する効果が見込まれること、あるいは地域の住民・企業・団体等にとって「うれしい」「便利になる」サービスであること ・実現可能性が期待できるサービスであること 《注意事項》 ※プレゼンに際し、成果物／発表内容の形式は問いません。 （口頭説明のみ、紙やアプリ等によるプロトタイプ制作、スライドによるプレゼンなど、各チームの任意になります。 スライドの形式についてはあらためてご案内させていただきます。） ※予め当日までに、参加チームごとに1つ以上、簡単なアイデアの方向性を温めておいてください。 （応募後、別途連携する応募フォームへ簡記していただきます。） ※当日、各チームへ広島銀行の役職員が合流し、事前に温めていたアイデアと一緒にブラッシュアップしてもらいます。 （ファシリテーターが、「楽しく、分かりやすく、簡単に」支援しますので、特段の知識や心の準備は必要ありません！気軽に参加ください。） <u>※アイデアの導出方法に際しては、下記「《参考》アイデア導出のアプローチ」を必ず事前に確認ください。</u> <u>※検討いただくアイデアの具体的なイメージについては、下記「《参考》導出サービスの事例（イメージ）」を必ず事前に確認ください。</u>

《アイデア導出アプローチの例》

銀行のサービスと、外部の色々なサービス・機能・情報を融合することで、地域の企業・大学・アプリ開発者・個人等（⇒ターゲット層）（※）の課題を解決し、夢や希望をかなえることができる、そんな新たなサービスを考えてみましょう！
（※ターゲット層は、実際のあなた自身である必要はありません）



【銀行の提供サービス（例）】

銀行が提供するサービスの例は以下のとおりです。
 これまで銀行窓口やATMでないと利用できなかった銀行のサービスが、APIなどの形でプログラムから呼び出して利用することが可能になってきています。
 以下に挙げたもの以外でも、「このようなサービスがあったら・・・」という想定を元にサービスを導出していただいてかまいません。

カテゴリ	銀行サービスの例	説明
口座関連	口座開設	お客様の普通預金口座を作成する
	口座番号照会	お客様の普通預金口座番号の情報を取得する
	残高照会	指定された口座の残高を取得する
	入出金明細照会	指定された口座の入金/出金の履歴を取得する
	保有資産照会	お客様の保有する資産（預金、株式、投信など）の情報を取得する
資金移動	振替	お客様の預金口座から本人の別の預金口座に資金を移動する
	振込	お客様の預金口座から他のお客様の預金口座に資金を移動する
	支払限度額の設定	預金口座からの移動する資金の上限を設定する
各種照会	手数料照会	振込やATM利用などの各種手数料を取得する
	利率照会	預金やローンの利率を取得する
	外国為替レート照会	外国為替（ドル/円など）のレートを取得する
店舗関連	店舗情報照会	銀行の店舗やATMの情報（場所、営業時間、混雑状況など）を取得する
	来店予約	銀行の店舗で待ち時間なく手続きするための予約を行う

【銀行以外のサービス・機能・情報（例）】

銀行以外のサービスとして、IBMのクラウドサービスである「Bluemix」が提供するサービス／APIの例は以下のとおりです。
 以下のようなサービス・機能・情報をクラウド経由で簡単に利用できるようになってきています。
 以下に挙げたもの以外でも、「このようなサービスがあったら・・・」という想定を元にサービスを導出していただいてかまいません。

カテゴリ	Bluemix APIの例	説明
AI/Watson	音声認識	人間の音声を文字に変換
	音声合成	テキストから適切な抑揚をつけて合成した音声を出力
	対話	会話型インターフェースを用いたアプリケーションとユーザーの対話
	性格分析	TwitterやFacebook、メールなどの文章からその人の性格、行動特性などを分析
	画像認識	画像に写っている物を判別、人物であれば誰かを特定するなどの識別
IoT	IoT情報取得	スマホなどのデバイスからIoT情報（振動、加速度、温度等）を取得しプログラミングに利用
	自動車向けIoT	自動車の走行情報を取得し運転者の挙動を分析
	保険向けIoT	場所、天候、交通状況、人の健康状態など保険契約者の状態を収集・表示
データ分析	気象情報	指定したピンポイントの場所の過去・現在・予報の気象データ取得
	ビッグデータ分析	大規模なデータ処理を高速に処理・分析することが可能なインターフェース
モバイル	モバイル開発	スマホアプリなどの開発・テストを容易に実施するための基盤
	電話	自動的に電話をかける／受ける／言葉で応答する／ショートメールを送るなどの電話関連機能
アプリケーション	ブロックチェーン	ブロックチェーンを構成する分散台帳などの作成、ブロックチェーンアプリケーションを容易に開発する機能
	メール	各種イベントに応じて自動的にメール配信する機能

上記のアイデア導出アプローチに沿って、例えば以下のような具体的サービスを考えてみましょう。
（応募申込時には、このようなざっくりとしたイメージを温めておくだけで結構です。
こういったアイデアを、当日、広島銀行員等と一緒に、ファシリテーターのもと、ブラッシュアップしていきます。）

ステップ 1

解決したい課題や、
かなえたい夢／希望を考えよう！



・カープのチケットが入手困難で、オークションサイトで高値転売されている。
もっと安く、公平に入手可能なようにしたい。
・チケット代金の支払にわざわざコンビニに行かないといけないのが面倒！



ステップ 2

これらの課題を解決し、
夢や希望をかなえるのに
関係しそうな銀行サービスを考えよう！



・カープ定期預金に関係ありそうだな…。
・振込サービスや、モバイルバンキングも使えそうかもね！



ステップ 3

これら既存の銀行サービスの課題や、
不足機能を補える銀行以外の
サービス・情報・機能を考えてみよう！



・そもそも、今は金利が低くて、地元の銀行がやっている「カープ定期預金」は、
カープが優勝しても利息がわずかしつかつかないよね。
・カープのチケット予約と定期預金や支払などの銀行サービスを
組み合わせてみたら、便利で楽しそう。
・インターネットサービスでよくある抽選サイトのようなアプリ等もいいんじゃない？



ステップ 4

これらを融合したり、飛躍・発散
させながら、自由な発想で、
新しいサービスアイデアを考えてみよう！



・モバイルバンキングアプリに、カープチケット抽選申込機能を付ける。
・カープ定期預金の預入期間・預入金額に応じてポイントを付与し、
ポイントに応じてチケット当選確率を上げる。
・カープ定期預金の利息は顧客が受け取らず、全てカープ球団に寄付される。
（カープ愛の強いファンほど、チケットの当選確率が上がることになる!）

事例として1つだけご紹介しましたが、如何でしょうか？そんなに難しくないですね？
えっ？もっとたくさんの事例を紹介しろ？

…実は私たち主催者も、一生懸命考えた結果、ようやく思いついたアイデアがこれだけなのです。
（そもそも自分たちだけでアイデアがどんどん思い浮かぶくらいなら、このようなイベントは実施しないのです。。。）

応募方法／
応募期間

チーム代表者の方は、応募規約を確認・同意頂いた上で、下記リンク先の応募フォームよりエントリーください。
＜応募フォーム＞ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/ques/questionnaire.php?openid=370>

後日、入力いただいたEメールアドレス宛に、「応募シート」の提出先アドレスを送付しますので、応募期間内に「応募シート」へ
必要事項を入力して提出ください。
（「応募シート」見本は10ページを参照ください。）

《 応募期間（応募シート提出期限） 》 平成29年3月23日（木）～平成29年4月9日（日）

司会者 (ファシリテーター)	“ハッカソン芸人” ハブチン（羽渕 彰博：はぶち あきひろ）  所属 Filament Inc (ハッカソン芸人/Event & Media事業本部長) 2008年にパソナキャリア入社。転職者のキャリア支援業務、自社の新卒採用業務、新規事業立ち上げに従事。社外では起業家体験イベントのファシリテーション（Startup weekend Tokyo）の経験を生かし、「レッドハッカソンひろしま」「Google Hackathon」「Hack On Air」など、官公庁や民間企業が主催するハッカソンの司会者として活躍。2016年3月にパソナキャリア退職、Omusubi.incを立ち上げ。2016年4月より、オープンイノベーションの創出支援を手掛けるFilament.incに入社、Event&Media事業本部長を務める。
メンター	角 勝（すみ まさる）  所属 Filament Inc (代表取締役社長 CEO) 元大阪市職員。2015年にFilament Incを設立。前職では大阪イノベーションハブの立上げと運用企画を担当し、西日本を代表するイノベーション拠点に育てた。現在は、共創による新規事業創出や人材育成を主導するオープンイノベーションオーガナイザーとして活躍。多くの企業のアドバイザーを務めるとともに、年間50件を超えるイノベーションイベントに携わる。また民間のオープンイノベーション拠点The DECKのチーフプロデューサーも務める。

計6名

・株式会社アスカネット 代表取締役 CEO 福田 幸雄（ふくだ ゆきお）



1948年 広島市生まれ
1966年 広島県立観音高校卒業
1970年 文化服装学院卒業
1972年～1974年 ブティック経営
1975年～1978年 ファッションデザイナー・アパレルメーカー経営
1982年 飛鳥写真工芸社設立
1995年 株式会社アスカネット設立
2000年 個人向け写真集製作事業の企画開発を開始
2005年 東証マザーズ上場
2011年 AI事業開始

・ルートエフ株式会社 代表取締役 大庫 直樹（おおご なおき）



1962年 東京・堀切菟蒲園生まれ
1985年 東京大学理学部数学科卒業、同年マッキンゼー・アンド・カンパニーに入社。1999年にパートナーに選出され、東京オフィスのリテール・バンキングのリーダーに。地域金融機関、メガバンク、ノンバンクなどあらゆる金融業態の経営改革支援に従事。
2005年GEコンシューマー・ファイナンス株式会社の執行役員、事業開発（M&A）の責任者に。2008年に独立してルートエフ株式会社を設立、代表取締役に（現職）
2009年から大阪府特別参与、2012年から2016年までは大阪府・市特別参与
2016年から広島県特別参与（現職）
2011年から同志社大学嘱託講師（現職）

・日本アイ・ビー・エム株式会社 BlueHub企画推進部長 大山 健司（おおやま けんじ）



コンサルティングファーム、証券会社（M&A部門）、ベンチャー企業を経て2012年より日本IBMの事業戦略コンサルティング部門に赴任。2016年より、スタートアップの事業育成支援と、大手企業とスタートアップのオープン・イノベーションを促進するIBM BlueHubのリーダーとして主に事業開発を担当。事業戦略策定、新規事業企画/開発、国内/海外のM&Aアドバイザー、IPO関連 コンサルティング等の実績多数。

・広島市立大学大学院 情報科学研究科教授 前田 香織（まえだ かおり） ※広島銀行社外取締役



1982年 広島大学 総合科学部卒業、広島大学 工学部第II類（電気系）助手
1990年 財団法人 放射線影響研究所
1994年 広島市立大学 情報処理センター助手
2007年より同大大学院 情報科学研究科教授
博士（情報工学） 専門は情報通信
社会活動では総務省情報通信審議会委員、ひろしま I T 融合 フォーラム会長等就任。
平成24年度文部科学大臣表彰科学技術賞受賞。

・広島県 商工労働局イノベーション推進部長 上丸 敦仁（うえまる あつひと）



H20.3 東京大学教養学部総合社会科学科修了
H20.4 経済産業省経済産業政策局調査統計部総合調整室
H23.6 内閣官房東京電力経営財務調査タスクフォース事務局
H23.8 内閣府原子力損害賠償支援機構担当室
H23.10 原子力安全・保安院企画調整課制度改正審議室
H24.3 内閣府原子力被災者生活支援チーム事務局
H25.1 独立行政法人日本貿易保険総務部経営企画グループ
H26.6 経済産業省貿易経済協力局貿易保険課
H26.7 米国留学（ハーバード大学）
H28.6 現職

・広島銀行 総合企画部長 尾木 朗（おぎ あきら）



昭和61年4月 横川支店入行
総合企画部、西条支店次長、営業統括部営業企画室長等を経て、
平成25年4月 広支店長
平成27年4月 人事総務部長
平成28年4月 総合企画部長

協賛／後援等

【特別協賛】

【協力】

IBM
blue
hub

日本アイ・ビー・エム(株)

filament

(株)フィラメント

【協賛】(順不同／敬称略)

ASUKANET

(株)アスカネット

NHC
おもひをITでカタチに

日本情報通信(株)

もっと「追完」。なくてはならない「存在」へ。
株式会社 マイティ ネット

(株)マイティネット

FUJITSU

富士通(株)

NTT DATA
Global IT Innovator

(株)NTTデータ

UNISYS

日本ユニシス(株)

HITACHI
Inspire the Next

(株)日立製作所

Orchestrating a brighter world
NEC

日本電気(株)

NRI
未来創発
Dream up the future.

(株)野村総合研究所

iSiD
IT Solution Innovator

(株)電通国際情報サービス

DNP

大日本印刷(株)

印刷テクノロジーで、世界を変える。
TOPPAN

凸版印刷(株)

NTT docomo

(株)NTTドコモ

Designing The Future
KDDI

KDDI(株)

SoftBank

ソフトバンク(株)

DATUM STUDIO

DATUM STUDIO(株)

【後援】(順不同／敬称略)

広島市
The City of Hiroshima
広島市

広島大学

広島大学

県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima

県立広島大学

3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

広島市立大学

広島修道大学

広島修道大学

広島経済大学

広島経済大学

福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

福山大学

近畿大学
KINDAI UNIVERSITY

近畿大学工学部

学校法人鶴学園
広島工業大学

広島工業大学

いのちのそばに。ひととともに。
HiU
常翔学園
広島国際大学
広島国際大学

中国新聞

中国新聞社

NIKKEI

日本経済新聞社広島支局

日経FinTech

(株)日経BP

広島家族。RCC

中国放送

広島テレビ

広島テレビ

tss

テレビ新広島

HOME

広島ホームテレビ

《応募規約》

本規約は、株式会社広島銀行および広島県（以下、「主催者」といいます）が共催する「第1回ひろしま金融アイデアソン “YEN HIROSHIMA（えん ひろしま）2017”」（以下、「本イベント」といいます）への参加にあたり、参加者に遵守頂く事項を定めたものです。本規約を承諾の上、応募・参加いただきますようお願いいたします。

- 1.目的
- 本イベントは、参加者が多様な視点や知識を持ち寄って共にアイデアを創出することにより、イノベーションを創出することを目的としています。
- 2.参加における注意事項
- (1)参加者は、主催者、ファシリテーター、メンター、審査員、その他運営協力者（以下「主催者等」といいます）の指示等に従い、本イベントの円滑な運営に協力するものとします。

(2)参加者は、本イベントが行われる施設の設備、機械、装置、工具等の利用その他の本施設の利用について、本施設の管理者および主催者の規則・指示等にしたがうものとします。

(3)主催者は、参加者が主催者等の指示に従わない場合や他の参加者に迷惑を及ぼす行為をするなど、本イベントの運営に支障が生じると判断した場合、当該参加者に対し、本イベントへの参加を差し止めることができるものとします。なお、これにより参加者に損害や不利益等が生じても、主催者は何らの責任を負わないものとします。
- 3.成果物
- 本イベントにおいて参加者が作成した文章、スケッチ、図、3Dデータ、CGデータ、写真、音声、動画、その他一切の成果物（以下「成果物」といいます）に関する著作権（著作権法第27条及び第28条の権利その他の権利を含みます）、特許権、実用新案権、意匠権、商標権等の知的財産権（それらの権利を取得し、またはそれらの権利につき登録等を出願する権利も含むものとします。以下、合わせて「知的財産権等」といいます）その他一切の権利は、作成した参加者自身に帰属します。ただし、本イベント終了時に合理的な方法により連絡が取れない参加者は、成果物に関する知的財産権等その他一切の権利を放棄したものとみなします。
- 4.アイデア
- 本イベントにおいて参加者が創出・提供したアイデア（コンセプトおよびノウハウ等を含みます）は、人類の共有財産（パブリックドメイン）として、他の参加者を含めた第三者が、無償で自由に利用することができます。
- 5.成果物等の権利化
- 前項のアイデアについて利用、権利化、製品化（以下「権利化等」といいます）をする場合、主催者及び参加者はかかる権利化等に向け協力するものとし、必要に応じ協議するものとします。参加者が権利化等を検討する場合、事前に主催者に連絡するものとし、権利化等された場合は、主催者は非独占的な無償による利用権を有するものとします。
- 6.公開
- 主催者等は、成果物を、広告宣伝または研究目的のために、ウェブサイト（SNSを含む）やチラシ、パンフレット等、任意の媒体において公開・利用することができるものとします。また、本イベントの内容や様子は各種メディアの取材及び主催者等による情報発信を予定しております。
- 7.参加者の秘密保持
- 参加者は、本イベントにおけるアイデアおよび成果物の取扱いを十分に理解したうえで、秘匿しておきたい秘密情報を本イベントにおいて提供・開示しないようご留意ください。
- 8.主催者等の秘密保持
- 本イベントにおいて主催者等が参加者に対し、秘密であることを明示した秘密情報を提供した場合、参加者はその秘密情報の取扱いに関し、主催者等の指示に従わなければならないものとします。
- 9.権利侵害の禁止
- 参加者は、本イベントにおける活動に関し、法令及び公序良俗に違反せず、また、第三者の知的財産権その他一切の権利を侵害してはならないものとします。
- 10.個人情報の取扱い
- (1)参加者は、本イベントへの応募及び参加にあたって、主催者に提供した参加者の個人情報、以下の目的のために使用されることに同意するものとします。
 - ・本イベントの受付、本イベントの運営開催、本イベント内容の情報発信、及びこれらに関連する事項
 - ・主催者からの他のイベントに関する案内情報の提供や各種アンケート送付

(2)主催者等は、情報発信のため本イベントの内容を任意の媒体において公開することがあります。参加者は氏名、プロフィール、映像、写真及び音声等が記録・公開されることに同意したうえで、本イベントに参加するものとします。
- 11.免責
- 主催者は、参加者が本イベントに参加した結果、参加者に生じた損害や不利益等について一切の責任を負わないものとします。ただし、主催者にその損害の発生について故意または重大な過失が存在する場合はこの限りではありません。
- 12.反社会的勢力の排除
- (1)参加者は、現在、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者（以下これらを「暴力団員等」という。）に該当しないこと、および次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約するものとします。
 - ①暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること
 - ②暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
 - ③自己もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること
 - ④暴力団員等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
 - ⑤役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること

(2)参加者は、自らまたは第三者を利用して次の各号の一にでも該当する行為を行わないことを確約するものとします。
 - ①暴力的な要求行為
 - ②法的な責任を超えた不当な要求行為
 - ③取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
 - ④風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて主催者等の信用を毀損し、または主催者等の業務を妨害する行為
 - ⑤その他前各号に準ずる行為

(3)参加者が前 2 項の確約に反することが判明したときには、主催者は何らの催告をせず、当該参加者の参加または受賞を取り消すことができるものとします。

(4)前項の規定の適用により、参加者に損害が生じた場合にも、主催者等になんらの請求をしないものとします。また、主催者等に損害が生じたときは、参加者がその責任を負うものとします。
- 13.損害賠償
- 参加者が、故意または過失により主催者等が提供する設備、機械、装置、工具等に損傷を与えた場合、若しくは本規約に違反して主催者等に損害を与えた場合、主催者等は生じた損害の賠償を請求し、当該参加者はこれを賠償するものとします。
- 14.準拠法及び合意管轄
- 本規約の解釈及び運用は日本国の法律に準拠するものとします。また、本イベントに関する訴訟については広島地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

《参考》「応募シート」イメージ

※後日、応募フォームへ入力頂いたチーム代表者Eメールアドレス宛てに、「応募シート」の送付先アドレスを送付いたしますので、期日までに入力して、提出ください。
※応募者多数の場合、記載頂いた内容等をもとに選考を行います。

チーム名 (※必須)				
チーム紹介・アピール (※必須)				
	氏名	職業／学校	年齢	性別
代表者 (※必須)	ふりがな			
メンバー	ふりがな			
メンバー	ふりがな			
メンバー	ふりがな			
メンバー	ふりがな			
代表者情報				
住所 (※必須)				
電話番号 (固定)				
(携帯) (※必須)				
E-mail (※必須)				

		《例》
アイデア概要 (※必須)		カープのチケットを公平かつ簡単に予約でき、その場で決済まで済んでしまう、カープ定期預金連動アプリが欲しい。
解決する課題・かなえる夢／希望 (任意)		・カープのチケットが入手困難で、オークションサイトで高値転売されている。もっと安く、公平に入手可能なようにしたい。 ・チケット代金の支払にわざわざコンビニに行かないといけないのが面倒！
解決方法 (任意)		・モバイルバンキングアプリに、カープチケット抽選申込機能を付ける。 ・カープ定期預金の預入期間・預入金額に応じてポイントを付与し、ポイントに応じてチケット当選確率を上げる。 ・カープ定期預金の利息は顧客が受け取らず、全てカープ球団に寄付される。 (カープ愛の強いファンほど、チケットの当選確率が上がることになる！)
ターゲット層 (任意)		一般市民
使用予定の銀行サービス (任意)		・カープ定期預金 ・振込
使用予定の銀行外サービス (任意)		カープチケット予約サイト

応募規約を確認・同意のうえ、上記の通り申し込みます。

【イベント内容・応募シートにかかるお問い合わせ先】
株式会社広島銀行（総合企画部新事業開発推進室） 石原・大江
電話：082-504-6641 e-mail：takumaoe@hirogin.co.jp
【エントリー方法等にかかるお問い合わせ先】
広島県商工労働局 イノベーション推進チーム 久保田・栗栖
電話：082-513-3353 e-mail：syoinnov@pref.hiroshima.lg.jp

